

数値目標（案）

項目	時期			積算根拠
	平時	流行初期 (国公表1カ月後)	流行初期以降 (国公表6カ月後)	
PCR検査の実施能力 <sup>※1</sup> (1日当たりの検査可能数)		500件/日	3,770件/日	北海道の数値目標案 <sup>※2</sup> と人口割合から算出
PCR検査機器数 (市衛生研究所分)		3台	4台	市衛生研究所の現有台数等 <sup>※3</sup>
宿泊施設居室確保数 <sup>※1</sup>		360室	980室	北海道の数値目標案 <sup>※2</sup> と人口割合から算出
研修・訓練回数	3回/年			第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023 <sup>※4</sup> の数値目標
保健所人員確保数		400人		コロナ対応時の札幌市の従事職員数の実績値より算出 <sup>※5</sup>
IHEAT <sup>※6</sup> 研修受講者数	5人/年			コロナ対応時の札幌市の実績値 <sup>※7</sup>

※1 北海道の数値目標と連動する項目のため、北海道の数値目標案に、札幌市の人口割合38.2%（令和5年1月1日時点）を乗じて算出（10以下を切り上げ）

※2 北海道の数値目標案

項目	流行初期	流行初期以降	備考
PCR検査実施能力 (1日当たりの検査可能数)	1,290件/日	9,856件/日	北海道の数値目標案 (令和5年10月23日時点)
宿泊施設居室確保数	930室	2,545室	

※3 流行初期は現有台数とする。流行初期以降は、遺伝子解析が必要となる場合に備え、前段階の変異株スクリーニング検査能力を上げるため1台追加

※4 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023は、幅広い分野を対象とした札幌市のまちづくりに係る中長期計画

※5 国の「予防計画作成のための手引き」を参考に、令和2年12月の職員数実績で、必要人員数については、行動計画や札幌市健康危機対応計画等において整理

※6 IHEAT（Infectious Disease Health Emergency Assistance Teamの略名）は、令和3年度から開始した、感染症のまん延等の健康危機が発生した場合に、地域の保健師等の専門職が保健所等の業務を支援する制度

※7 コロナ対応時に高齢者施設の感染指導等の施設支援業務に従事した看護師等の専門職で、札幌市が雇用した従事者数の平均値（令和3年度～令和5年度）